



かけはし



東日本大震災

義援金受付 9月30日(金)まで

詳しくは6ページをご覧ください

このたびの大地震により被災された方々に心からのお見舞いと哀悼の意を捧げます。

被害は、当初の地震と津波から原発事故による放射能流出という事態に至り、その影響は、被災地はもとより日本全国にまで及んでおります。

こうした中で、当社協でも皆様のご協力をいただき、被災地への救援物資の提供や災害ボランティア活動への連絡調整と情報提供、さらには共同募金会による義援金募集を行っております。また、当地に避難してこられた方々に、笛吹市内の皆様から寄せられた善意の物資を提供する「救援物資支援センター」を笛吹市や市民の皆様とともに立ち上げ、協力させていただいております。

今回の地震で、突然やってくる災害の恐ろしさを改めて知らされ、このような際に「地域の絆」がいかに大切であるかを再認識いたしました。

被災地の皆様が普通の生活に戻るには、長い年月にわたって大変な労力と忍耐が必要と思いますが、1日も早くその日が来ることを願っております。

平成23年4月 笛吹市社会福祉協議会会長 網倉義久



笛吹市救援物資支援センターにて(4ページ)



集まった救援物資(4ページ)



被災地釜石市にて(4ページ)

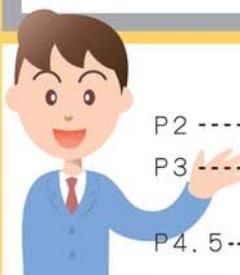


福島原発避難所にて(4ページ)

CONTENTS ~目次~

- P2 -----平成23年度事業計画・収支予算
- P3 -----地域福祉推進事業助成金お知らせ
やってみるじゃん協力員養成講座参加募集
- P4. 5----東日本大震災関連報告

- P6 ----義援金、善意の寄付・寄贈の御礼
ホームページリニューアル
- P7 ----特別会員会費の御礼
- P8 ----障害者地域活動支援センター「ふえふき」通信



発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

広報かけはしには、赤い羽根協同募金の配分金が活用されています。

基本方針

東日本大震災は、未曾有の被害をもたらし、国内はもとより全世界にも大きな衝撃と影響を及ぼしております。厳しい国の財政状況が続く中でこのような非常事態はさらに財政を圧迫し、今後福祉政策がどのように変わるか予測はつきません。しかし、このような時だからこそ社会福祉協議会の必要性は高まるものと思います。

そこで、家族の絆・地域の絆づくりや公的制度等では対応できない生活・福祉課題に、社会福祉協議会が中心となり地域全体で取り組まなければなりません。そのため、広報機能を充実し社協の存在意義を住民に充分理解してもらうとともに、積極的に地域に関わってまいります。

また、介護保険事業については、介護サービスの質をさらに高め、地域の介護事業のリーダーとしての役割をはたしつつ、利用者から選ばれる事業所になるための努力をしてまいります。

さて、本年は地域福祉活動計画の最終年であり、次期活動計画立案の年でもあります。笛吹市が「誰もが自分らしく安心して暮らすことができる地域」であり続けるために、今までの活動を検証し、笛吹市地域福祉計画を基に災害等も視野に入れながら、新たな活動の企画立案を進めてまいります。

重点目標

- 1 継続した見守り体制の構築
- 2 世代間交流と地域の顔の見える関係づくりの構築
- 3 相談のワンストップに向けた「つなぐ機能」の充実
- 4 障害者地域活動支援センターの充実
- 5 要援護者の支援体制の強化
- 6 介護保険事業のサービスの質の向上
- 7 指定管理施設の適切な管理・運営



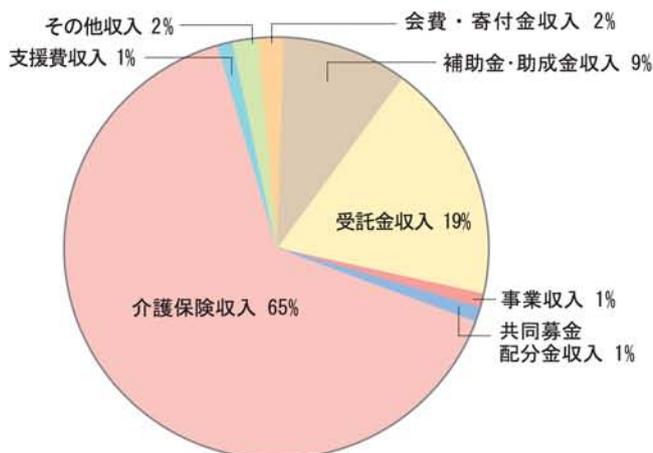
平成23年度 一般会計収支予算

(経理区分間繰入金収入・支出を除く)

収入

(単位：千円)

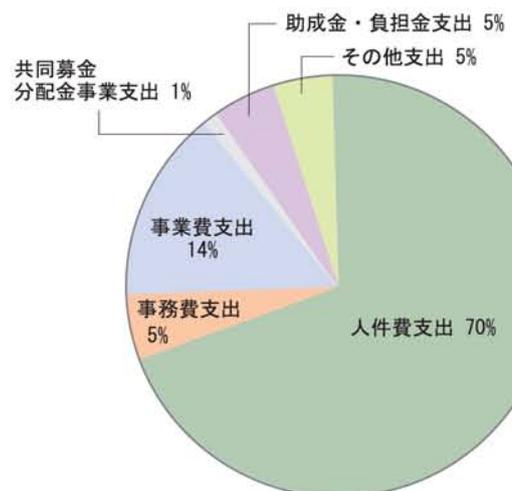
項目	H23予算額	H22予算額	比較
会費・寄付金収入	16,970	17,660	▲ 690
補助金・助成金収入	67,537	67,798	▲ 261
受託金収入	144,503	141,638	2,865
事業収入	5,184	7,008	▲ 1,824
共同募金配分金収入	9,640	7,672	1,968
介護保険収入	505,915	490,687	15,228
支援費収入	8,476	8,749	▲ 273
その他収入	18,394	5,378	13,016
計	776,619	746,590	30,029



支出

(単位：千円)

項目	H23予算額	H22予算額	比較
人件費支出	541,093	532,665	8,428
事務費支出	42,142	43,504	▲ 1,362
事業費支出	106,583	90,082	16,501
共同募金配分金事業支出	9,340	7,672	1,668
助成金・負担金支出	36,941	35,897	1,044
その他支出	40,520	36,770	3,750
計	776,619	746,590	30,029



平成23年度 地域福祉推進事業助成金のご案内

お知らせ



「竹原田十日夜祭り」準備の様子

社会福祉協議会では、安心して暮らせる幸せあふれるまちづくりをすすめる為に、各種団体、行政区等が行う地域福祉活動に対して助成をします。

皆様のお申し込みをお待ちしております

申請期間

平成23年5月9日(月)～31日(火)

助成の申し込み・問合せ先

- 笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課
本所(八代): 055-265-5182
- 各地域事務所
石和: 055-262-1267 境川: 055-266-5911
御坂: 055-263-0848 春日居: 0553-26-3667
一宮: 0553-47-2288 芦川: 055-298-2170

昨年度は60地区・団体に助成いたしました。

※社会福祉協議会の会費で行われている事業です。

介護予防事業(やってみるじゃん) 協力員養成講座参加者募集!!

募集

介護予防事業(やってみるじゃん)は、各地域の公民館活動へと広がってきました。これからは自主的な活動につながる取り組みをしていきます。そこで運営に携わる協力員の方の養成講座を開催します。

受付期間

平成23年5月9日(月)～31日(火)

定員

笛吹市市内在住 定員20名
※協力員として活動していただける方

実施スケジュール

平成23年6～7月
講義・実技5回、実習2回の計7回を1コースとし養成講座とする。(1回/年)

講義・実技内容

高齢者の心と体、介護予防の現状、運動・認知症予防・栄養・口腔ケア・レクリエーション等

実習内容

介護予防事業(やってみるじゃん)地域開催実習

「やってみるじゃん」を知りたい方は・・・
今すぐホームページを見てね!

やってみるじゃん体操

検索

申し込み・問合せ先

- 笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課
本所(八代): 055-265-5182
- 各地域事務所
石和: 055-262-1267
御坂: 055-263-0848
一宮: 0553-47-2288
境川: 055-266-5911
春日居: 0553-26-3667
芦川: 055-298-2170



予告

訪問介護員養成研修(2級課程)開催!! 期間7月～9月(予定)
★詳細は次号に掲載します。

ボランティア大会

～災害から考えられる日常のヒント～ 2011.2.27 八代総合会館

ボランティア大会 開催報告

昨年度に続き「災害」をテーマにボランティア大会を開催し176名が参加しました。今年度は、「災害から考えられる日常のヒント」をテーマに一部は阪神淡路大震災の被災者である石島さんの講演会「災害時のSOSと心のケア」、二部はグループワーク「私たちの町で日常できること」の二部構成で行われました。石島さんは、近所の人たちと倒壊した隣の家の奥さんを捜しだした。すでに息絶えており、そのご遺体を安置所に運んだ時、多くの遺体を目にし、現実のものとして受け止められず、悲しみも何もかも全ての感情が無くなってしまった。しかし、その後毎日夢にその光景が出てきて、うなされた、という経験を語りました。二部では、聞こえない障害者から「私たちに情報を届けてください」という悲痛な思いが発信されました。一部二部を通して、参加者のみなさんで確認したこと。①日頃から近所の人と顔が見える関係を作ろう、②自分のできることは自ら備えようでした。そこで、以下に日頃の備えのヒントを掲載します。

笛吹市 市民防災チェックリスト ～事前の準備が大事～

●日常確認事項

- 家族で決める集合場所
離ればなれになったときの場所など
- 避難場所
各地区指定避難所や福祉避難所
- 近所の人や地域の区長さんなどの役員さんの所在
- 防災に対する知識
地域の防災訓練への参加、消火器使用方法などの体験
- 住まいの安全点検
家具転倒防止、ガラス飛散防止や火気器具取り扱いなど

●非常時準備品

- 常備薬・処方箋
- 救急医薬品
- 紙おむつなどの衛生用品
- 水分や非常食（3日分）
- 懐中電灯
- 靴底の厚い履き物
- 毛布 ※ヘルメット・手袋・
- ラジオ □ーブ・スコップ等救助、救援に必要な
- 笛 資材も常備が必要。

東京の武蔵野市他への研修は、地震発生日の3月11日に行われ帰宅予定は午後5時でした。高速道路が全面通行止めとなった当日研修参加者100名は夕食を調達することもできず少しの飲み物と、お菓子を食べる長い夜をバ

震災当日の研修帰路にて

今回の震災から生き抜く知恵と力を得る為に私たちが何を学び何をすべきか改めて本気で考え直さねばならない。異常事態に力強く有機的に働くシステムや、生命力のある戦略と戦術を構築する必要が急務である。

2011.3.11 東日本大震災

がんばろう日本!!

笛吹市救援物資支援センター 立ち上げ!!

市民ボランティアが大活躍

現地被災者及び市内避難者のための救援物資の集積と提供のための救援物資支援センターを4月5日に開設しました。笛吹市災害支援対策本部の指示で笛吹市社協がボランティアを中心とした支援センターを立ち上げました。センターの運営は社協が募集した市民ボランティア、従来から活動しているボランティア組織を中心に運営を行っております。



ボランティアさんによる被災者宅訪問

続々と届けられる救援物資

●お問い合わせ先 笛吹市救援物資支援センター TEL:0553-26-3512
時間：午前10時～午後4時 場所：笛吹市役所春日居支所北別館
●ボランティアについてお問い合わせ先 笛吹市社会福祉協議会（本所）TEL:055-265-5182

東日本大震災ボランティア手記

～福島原発地避難者の支援～

大震災の後、これまでのボランティア経験を生かし現地の避難所の支援にあたりたい。その思いを、被災地の各役場に届けると福島県田村市の保健師とつながった。早速笛吹市社協に相談。警察から「緊急車両の許可」を交付していただき市民からの支援物資を社協から預かり、3月22日原発から40km程の田村市に向かった。現地に到着後市役所に物資を届け、指示に従い避難所である市営体育館に向かう。現地情報によると避難者は約800名、支援にあたるボランティアは約30名ということであった。避難者は20から30人でグループを作りリーダーがミーティングをしながら、炊き出しやトイレ掃除などの避難所の運営

を続けていた。そこでの私の業務は水運びと、一人で避難している方の話し相手をした。ボランティアをして感じたことは、避難所の生活はみんなで見守りや声かけをしているが、一人暮らしの方が今後、仮設住宅に引越した後の孤立がとても気になった。今回の災害はボランティアをしてきた私にとっても筆舌に尽くしがた

く、ただただ避難者の健康を祈りつつ「私の生きていく間にあのような災害に二度と遭いたくない」という思いを強くしながら3月26日に笛吹市に戻ってきた。



緊急車両



避難所

コラム 笛吹社協職員現地レポート

～岩手県釜石市にて～

被災された岩手県釜石市の社協が運営する災害ボランティアセンターへ、笛吹社協職員も協力をしに伺いました。現地では「半壊した民家から畳やがれきを出してほしい」とのこと、安全確認に行きました。そこで、出会った被災者の女性が震災のお話しをしてくれました。震災時、押し寄せてくる津波に気づいた息子さんから『屋根の上にあがれ!』と言われ、なんとか自分は助かったとのことですが、その後、必死で声を掛けてくれた息子さんは行方が分からなくなりました。息子さんのお話を涙ながらにお話しくださいました。

今はただ、目の前の現実を受け入れたくないといい思いで、必死に動いていると言っていました。その後お話しした釜石市現地社協の局長もその女性と全く同じことを言っていました。被災された方は、震災時の話を始めると、様々な思いが込みあげてきてしまうようでした。

大変な時だからこそ笑顔で頑張りたくいと伝えてくれたおばあちゃん



3/11 武蔵野市の「コミュニティづくり」研修に参加して

笛吹市ボランティア連絡会会長 佐藤泰雄さん

阪神の地震、そして中越の災害で肉親や生活の術を失った心労も消えぬうちに東日本では未曾有の地震と津波に襲われた。地域社会に存在していた近隣関係も人心の財産も容赦なく破壊され放射線の恐怖が広範囲な地域を覆っている。

人は実体験に依るしか知恵を生み出す術を持たぬとしたら「悲しい程の愚かな生き物」と言われることを避けねばならない。

今回の震災から生き抜く知恵と力を得る為に私たちが何を学び何をすべきか改めて本気で考え直さねばならない。異常事態に力強く有機的に働くシステムや、生命力のある戦略と戦術を構築する必要が急務である。

不断に備え、有事に実効あると信じてきた組織も、それに携る人的パワーも一瞬に暴威に晒され術がなかった。日常生活の中で危機感を持って訓練を繰り返した地域だけが、かろうじて生命だけは維持したという例が報道された。情報の的確な伝達手段が重要であることが証明されている。人は明確な目的を持った正しい情報があれば強大な力が発揮される。自立した個人の集合体が情報を活かせる近隣関係を持ち共働できる自発的なネットワークの構築が焦眉の急であると思う。

自発的に共働出来るネットワークは情報伝達による力強い地域社会を創る。

笛吹市社会福祉協議会ホームページにて最新情報をお届け

笛吹社協

検索

ご協力頂きまして
ありがとうございました。

東日本大震災 義援金

みなさまの温かい心を
大切にしていきます。

1,186,027円

[平成22年4月11日現在]



義援金受付 9月30日(金)まで

『東日本大震災義援金』寄付者一覧

※ご記入いただいた個人情報は本会で適正に管理し、
目的以外には使用いたしません。

■境川

手芸ボランティアの会 様

■八代

鈴の会

代表 大森 つる代 様
須田 和子 様
鶴田 国恵 様
西海 園江 様
志茂 松子 様
石倉 幸子 様
田中 トミ子 様
小林 栄子 様
武川 ふじ 様

川口 勝彦 様
川口 多喜子 様
田中 眞太郎 様
久保 久 様
老松 会一 様
宮川 秀造 様
風間 きよ子 様

■一宮

佐藤 京子 様
山口 静子 様
津島 明子 様
飯島 安江 様
宇佐 美喜之 様
高橋 弘子 様
(有) 田中 電気 様
田中 正義 様
降矢 知子 様
塩田 宮の会 様
上矢 作区民一同 様
一宮町 月一会 様

一宮町 田中 白山 神社 様
和会 様 (代表 早河正弘 様)
絆の会 様 (代表 山口茂美 様)
一宮町 神沢区 老人クラブ 様
(代表 古屋ちか 様)
一宮町 グラウンドゴルフ部 様 (代表 古屋重信 様)
山梨年金受給協会 笛吹一宮支部 様 (代表 古屋重信 様)

■御坂

上野 豊彦 様
広徳 寺 様
栗合 グランドゴルフ愛好会 様

■石和

石和町 広瀬区 様
山教組 笛吹支部 石和中分会 様
広瀬区 老人クラブ 様

■市外

“パドル体操指導者
三嶋紀美子” 様

■春日居

荒井 和子 様
川口 文江 様
田草 川一夫 様
飯田 光治 様
飯田 光紀 様
北山 佳代子 様
生原 邦男 様
生原 洋子 様
宇津 宮武 様
熊野堂 下地区
童謡をうたう会 様

■芦川

野澤 茂子 様
宮川 松江 様
芦澤 俊恵 様
石原 清子 様
三森 里緒 様

※その他、匿名の方や直接募金をしていただいた方など、多くの方にご協力頂きました。

ホームページがリニューアルしました!

笛吹市の皆さんにより楽しく、
より分かりやすく、情報をお届けします

2011年3月28日(月)に笛吹市社会福祉協議会のホームページをリニューアルしました。今回、ホームページのリニューアルをする際に皆様に「より楽しく」「より分かりやすく」情報発信をすることで協をより身近な存在に感じていただけるよう改善いたしました。今後とも、笛吹市社会福祉協議会ホームページをよろしくお願いたします。

お知らせでは笛吹社協の最新情報を事業ごとにご覧頂けます。

「かけはし」のバックナンバーもご覧頂けます。



「善意の寄付・寄贈」の御礼 (平成23年1月から3月受付分)

1月4日 春日居町 倉田美恵子様
1月4日 春日居町 中村拓様
2月14日 石和町 ユニー(株)アピタ石和店ご利用者様 (愛の1円募金)
2月21日 石和町 (財)山梨県下水道公社様

いつもご協力ありがとうございます。

3月21日 一宮町 仁科節子様
3月2日 八代町 八代小学校 福祉委員会様
3月8日 一宮町 早河正弘様
3月23日 八代町 八代町ボランティアひまわりの会様





太鼓教室開催 随時参加者募集! ★

笛吹どんどこ太鼓は笛吹市の障がい者のグループです。リズムに乗り、太鼓の音を体いっぱい感じてみませんか?

開催日：毎月第2木曜・第3土曜
時間：午後1時半～3時
場所：御坂道場



家事教室 参加者募集中! ★

料理、掃除、買い物を一緒にしてみませんか? 楽しく家事を体験してみましょう。

開催日：毎週水曜日
時間：午前10時～12時
場所：障害者地域活動支援センター「ふえふき」



パソコン教室 見学者・参加者募集! ★

障害をお持ちの方を対象にパソコン教室を開催しています。パソコンの数に限りがありますので、興味のある方は事前に支援センターまでご連絡下さい。初心者の方も大歓迎です!

開催日：毎週月曜日・金曜日
時間：午前10時～12時
場所：障害者地域活動支援センター「ふえふき」



畑作業 随時参加者募集! ★

青空のもと、体を動かしてみませんか? ピーマン、なすなど夏野菜の苗植えを行ったり、6月には春に植えたじゃがいもの収穫が待っています。運動不足を解消したい! 仲間を作りたい! 農業に興味がある方などぜひ一度見学にいらしてください♪

開催日：毎週木曜日 場所：御坂の畑にて
時間：午前10時～



芸術の日 参加者募集中! ★

音楽、絵、書道、刺し子などの創作活動を行っています。自分を何かで表現したい方、物作りに興味のある方は、ぜひ参加してみませんか? 事前に支援センターまでご連絡下さい。

開催日：毎週月曜日
時間：午前10時～12時
場所：障害者地域活動支援センター「ふえふき」



デイケア 見学者・参加者募集! ★

デイケアでは在宅の精神障害をお持ちの方を応援します。仲間作り、趣味探し、自立に向けての学習、相談など様々な形でお手伝いします。

開催日：毎週火曜日・金曜日
時間：午前9時半～午後3時
場所：障害者地域活動支援センター「ふえふき」



点訳サービス ★

視覚障害をお持ちの方への情報提供のために点字資料やSPコードを作成しています。



成年後見制度の利用支援 ★

当センターでは、地域で暮らす認知症高齢者、障がい者の権利を守るため、成年後見制度の利用支援を行なっています。

地域交流事業、研修会等の開催時期延期 ★

毎年開催していましたが下記の事業につきましては、計画停電等の影響により9月以降に開催を予定しております。

- ・ハートランドふえふき祭り
- ・手話奉仕員養成講座 ・朗読奉仕員養成講座

申し込み・問合せ先

★マークのついているもの

社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会
障害者地域活動支援センター「ふえふき」

TEL 055-263-1777

FAX 055-263-1769

福祉機器貸出し

障害をお持ちの方に車椅子など中古の福祉機器の貸出しを行っています。

声の広報発行

視覚障害をお持ちの方へ声の広報をお届けしています。市内の朗読ボランティアの方のご協力を得ながら、笛吹市と社会福祉協議会の広報を吹き込んだCDをお配りしています。

福祉機器貸出し・声の広報発行に関して

- 笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課
本所(八代)：055-265-5182

- 各地域事務所

石 和：055-262-1267
御 坂：055-263-0848
一 宮：0553-47-2288
境 川：055-266-5911
春日居：0553-26-3667
芦 川：055-298-2170

